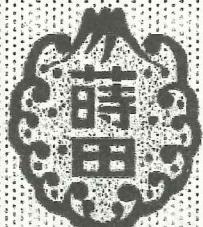


学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」



ま
い
た

平成30年度

3月号

平成31年2月28日

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/maita/>

6年生の皆さん 本当にありがとうございます！

校長 太田 正寿

新年の挨拶を交わしたと思ったのも束の間、早くも2ヶ月が過ぎました。「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」とはよくいったものです。これから学年末までの学校生活を大切にし、1年間の歩みを振り返りながら、新しい時代の始まりに向けて、「新たな目標を持ってがんばろう！」という気持ちを、子どもたち一人ひとりが持てるようにしていきたいと思っております。

さて、3月は別れの月。いよいよ6年生は蒔田小を旅立つときが近づいてきました。这一年間、蒔小の最上級生として、1年生から5年生の子どもたちや学校、地域のためにたくさんの活動をしてきました。よりよい学校にしようと、代表委員会、各委員会活動の運営を進んで行ったり、春の運動会、クラブ活動、全校集会、なかよし活動等では、リーダーシップを發揮し、責任ある取り組みを行ったりしました。朝の集団登校においては、1年生の手を引いてやさしく振舞い声掛けをする姿は、見ていて微笑ましく、本当の思いやりのある姿を日々実感することができました。

また、本校の特色ある活動の一つ、縦割り活動で実施する久良岐公園の全校遠足では、下級生の気持ちに寄り添いながら、グループのみんなが楽しく活動できるアイデアをたくさん出し、実行することができました。毎日行われた「はばたきの会」においても、お世話になった保護者の方や先生方のために工夫を凝らした劇や、気持ちのこもった歌や合奏、よびかけ等の企画を取り入れ、思い出に残る楽しいひとときを、参加者全員で創り上げることができました。

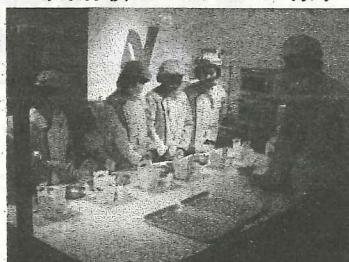
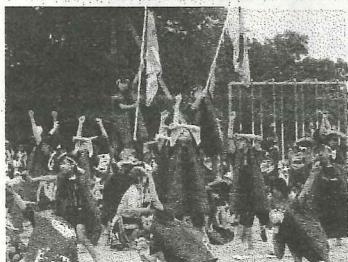
本当に本校の6年生は、日光修学旅行や社会科見学等でいっしょに行動していく中、安心して見ていることができ、他校に自慢のできる、心やさしい子どもたちです。

そんな6年生が卒業してしまうのは寂しいですが、お世話になった6年生ですから、子どもたち、教職員みんなで、感謝の気持ちをこめて卒業をお祝いしていきたいと思っています。特に5年生は、学校のリーダーとしてのバトンを引き継ぎます。6年生に負けぬ、素直で元気な今の5年生ならば、バトンをしっかりと受け取り、次にしっかりとつなぐことができる確信しています。蒔小は、このようにして67年間、バトンをつなぐことができました。この春に、バトンを渡す、あるいは渡される全ての蒔小の子どもたちが、「感謝と信頼」を持って引き継ぎ、よりよい学校にしていくことができればと願っています。

最後になりますが、「これまで蒔小でリーダーシップを発揮してくれた6年生、本当にありがとうございます。中学校にいっても、蒔小の卒業生としての誇りをもってがんばってください。そして、これからバトンをつなぐ5年生、蒔小のよき伝統をしっかりと引き継いでください。大いに期待しています。」と感謝と期待の気持ちをこめて、メッセージを送りたいと思います。

また、今年一年間、蒔小の子どもたちを温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございます。6年生は3月16日に旅立ちますが、本校の大好きな卒業生として、これからも温かい目で支えてくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。そして、1年生から5年生までの在校生も、4月からはワンステップ成長した姿をお示しできるよう、教職員一同、精一杯努力してまいりますので、学校へのさらなるご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

＜春の運動会＞ ＜久良岐公園・全校遠足＞ ＜職業体験＞＊キッザニア東京 ＜はばたきの会＞



★蒔小の卒業生としての誇りをもって、中学校でもがんばってください！★